

再生
可能
エネ
ルギー

ストーカ式
下水汚泥焼却発電システム

会社名

カナデビア株式会社

本社・大阪の拠点

大阪市

会社
紹介

カナデビア株式会社は1965年大阪市西淀工場に国内初のごみ焼却発電プラントを建設し、現在はストーカ式焼却炉で世界No.1の実績を有します。そのノウハウを活用し、下水汚泥焼却炉の温室効果ガス排出量マイナスを実現しました。

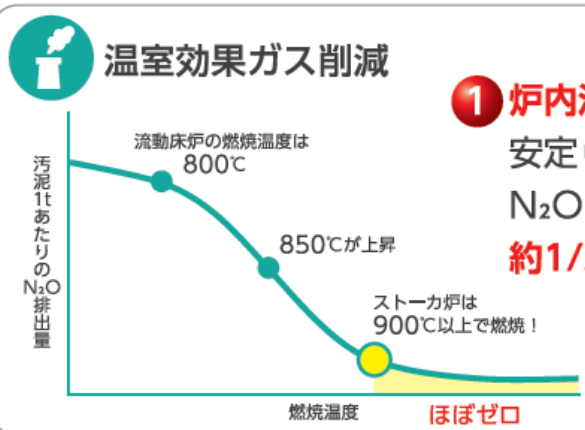
技術
詳細

・ 下水処理場で発生する下水汚泥を高温で焼却し、廃熱回収後に発電するシステム

・ 900℃以上の高温燃焼での安定稼働と環境負荷低減の両立でき、既存の流動床炉の課題を解決

■ 3つのメリット

温室効果ガス削減



① 炉内温度900℃以上の安定した高温燃焼により、N₂Oを従来比の約1/300まで削減

廃熱の有効利用

② 廃熱回収は蒸気タービンにより高効率発電

補助燃料不要

③ 焼却炉の自燃および蒸気を熱源とした乾燥機で補助燃料不要

補助燃料ゼロ、発電電力量が多く、使用電力量の削減と合わせて、温室効果ガス排出量マイナスを実現できるストーカ式下水汚泥焼却炉を通じ、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

問い合わせ先

大阪府商工労働部成長産業振興室
産業創造課グリーンビジネスG
〒559-0855
大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎25階
TEL：06-6210-9484
メールアドレス：green@gbox.pref.osaka.lg.jp

令和7年5月7日時点